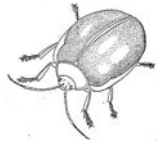


たんぽう



兵庫県佐用町でクロカタビロオサムシを採集

三木 進

2013年5月9日、佐用郡佐用町佐用の佐用坂近くの山道でクロカタビロオサムシ *Calosoma maximowiczii* 1♂ (写真) を採集したので報告する。



午前10時ごろ、幅1メートルほどの山道を歩いていた。

また、佐用町昆虫館の入館者が、生きた本種をケースに入れて持っておられ、尋ねたところ、2013年4月14日に、たつの市龍野町中霞城の龍野公園で道を歩いていたものを捕獲したという。

ゾウムシなどの研究者、沢田佳久さんが雑誌「季刊レポ」の「ヒビムシ」に寄せられた情報によると、神戸市の菊水山でも2012年以降見られ、2013年には普通種になったという。

クロカタビロオサムシは、樹上でガの幼虫を食べ、ブナアオシャチホコ、マイマイガなどの幼虫が大発生したときに増えるという。確かに2012年、2013年とマイマイガが県南部で多くみられ、明石の自宅でも多数を確認、マンションの壁に卵塊が産み付けられている。

この傾向は東日本で顕著で、北海道、長野、岐阜などでマイマイガの大発生がニュースになっている。大発生は2、3年続き、周期は10年ほどだという。

2014年も、クロカタビロオサムシに出会えるかも知れない。

(Susumu MIKI 兵庫県明石市)

兵庫県明石市西部で灯火に飛来したナニワトンボ

三木 進

2013年10月5日、明石市大久保町西島にある自宅マンションの蛍光灯に、ナニワトンボ *Sympetrum gracile* 1♂ (写真) が飛来したので報告する。



午後10時ごろ、マンション4階の廊下天井の20Wの蛍光灯に、何度もぶつかっているトンボを採集すると本種だった。

「兵庫の貴重な自然・兵庫県版レッドデータブック(昆虫類)2012」によるとCランクで、明石市内にも記録はあるものの、灯火に来た例でもあり報告する。

周辺には赤根川が流れ、ため池までは500メートルほど。しかし、周囲が樹林に被われたような環境はない。

○参考文献

兵庫県農政環境部環境創造局自然課, 2012. 兵庫の貴重な自然, 兵庫県版レッドデータブック(昆虫類). (財) ひょうご環境創造協会, 16pp.

(Susumu MIKI 兵庫県明石市)